

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年08月02日

計画の名称	幸田町における循環のみちの実現												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	幸田町												
計画の目標	下水道の整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な生活環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	261	A	261	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (R4末)
1	下水道による北部処理分区の整備率を0%(H30)から100%(R4)に増加させる。 北部処理分区の整備率 整備済延長(m)/計画延長(m)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 幸田町で実施	事後評価の実施時期 事業終了後（令和5年度）
	公表の方法 幸田町のホームページに記載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・下水道整備を行った結果、事業計画区域の快適な暮らしを実現できるものとなり、周辺においても良好な環境水域を保つ基盤が整った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
・北部処理分区（坂崎）の整備を行っていく。	

